

科目名	臨床病態学VI(精神科学) Clinical Pathophysiology and Therapeutics VI		担当教員 (研究室番号)	森川 将行(非常勤) 芳野 浩樹(非常勤) 濱本 妙子(非常勤)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	kyomutanto@ml.mcn.ac.jp						
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門支持科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	精神と健康との関係について理解した上で、精神科診断と治療について総論的に学び、精神科臨床において重要な精神疾患についてその診断、病因、治療、経過後等を今日的な視点、問題も交えて講義する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
到達目標	人間の精神の健康に及ぼす影響が理解でき、精神の不健康の臨床的な現れ方を実践的に把握し援助できることを目標とする。											
成績評価方法(基準)	筆記テスト											
再試験の有無と基準等	なし											
教科書	なし											
参考書等												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	講義による授業の中に、時にこころの病を抱える人の映像も取り入れながら、授業内容がより印象に残るよう行います。人間の精神的不健康や精神疾患を、精神医学という方法と人間への深い理解を併せて支援できるような看護者になることを期待します。											
備考	パワーポイント又はDVDを使用する。											
回	学習項目	学習内容								主担当 教員	授業 方法	
1回	ストレスと身体健康／精神健康	精神の健康と不健康、精神と身体の間、ストレス理論、ストレス-脆弱性仮説、自死・自傷への対応、ICD-10「重度ストレスへの反応」などについて概説する。								芳野	講義	
2回	精神科診断と治療(発達障害を含む)	精神症状の把握と理解、精神科治療総論(精神療法、薬物療法、リハビリテーション)、患者との関わり方、面接などについても学ぶ。発達障害の特性を学び、その2次的に精神症状が生じることへの理解を深める。								森川	講義	
3回	気分障害(うつ病・躁うつ病)	気分障害の診断、脳科学、治療、経過、関連する問題を概説し、ストレス対処のための具体的な認知行動療法について説明する。								濱本	講義	
4回	統合失調症	統合失調症の診断、脳科学、経過、予後、治療、遺伝の問題、家族理論の変遷と家族支援について概説する。								芳野	講義	
5回	精神病性障害の早期支援と急性期治療(多職種支援を含む)	精神病性障害の予防と早期治療(英国、オーストラリアの紹介)、精神科急性期治療について学ぶ。多職種で行っているユース・メンタルサポートセンターの取り組みを通じて早期介入の重要性を認識する。								森川	講義	
6回	精神作用物質使用による精神・行動の障害	アルコール・薬物に共通する脳への様々な作用について学んで、依存症にまつわる心理的背景への理解を深め、具体的な治療的関わりを学ぶ。								濱本	講義	
7回	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害(パーソナリティ障害を含む)	不安と防衛機制、不安のさまざまな現れ方が関係する神経症性障害、ストレス関連障害、パーソナリティ障害について概説する。								芳野	講義	
8回	症状性を含む器質性精神障害	薬物療法や身体疾患に伴う精神症状について理解を深める。とりわけ、認知症を中心に診断と経過、治療を概説する。医療のみならずケアの重要性についても学ぶ。								森川	講義	

学 習 課 題

--

実務経験を活かした教育の取組

--